

議 事 録

会 議 名	令和2年度第1回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	令和2年6月18日（木）13:30～16:00
開催場所	福岡市教育センター 201 研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 森委員，古相委員，徳永委員，中山委員</p> <p><PTA役員> 佐伯委員，古賀委員，力丸委員，坂元委員 川添委員，松原委員</p> <p><校長会> 細川委員，鈴木委員，箆島委員</p> <p><指導主事等> 三浦委員，藤本委員，永田委員，岡藤委員，井手口委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員> 福田委員</p> <p>事務局：木下指導部長，諏訪原発達教育センター所長 瀬村学校指導第2係長</p>
議 題	<p>○ 諮問委員委嘱及び役員選出</p> <p>○ 福岡市教科用図書採択の説明 等</p>
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 福岡市教科用図書調査研究委員委嘱</p> <p>3 教育委員会挨拶</p> <p>4 委員長・副委員長選出</p> <p>5 諮問</p> <p>6 議事</p> <p>（1）教科用図書採択の概要説明</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 教科書（教科用図書）について</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 福岡市立義務教育諸学校の教科用図書採択について</p> <p style="padding-left: 40px;"><休憩></p> <p>（2）中学校全教科の教科用図書採択説明</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 令和3年度使用教科用図書採択方針について</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 調査研究委員会の進め方について</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 基礎資料について</p> <p>（3）調査</p> <p>7 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p>◇ 教科用図書採択の概要について</p> <p>〔事務局〕概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書の定義（文科省HP） ・教科書…中学校16種目 ・調査研究委員会…調査会作成の基礎資料をもとに進めている

- ・委員任期…1年間
- ・過半数が必要 原則公開
- ・採択方針について
基本方針3.4については福岡市独自 第2次福岡市教育振興計画
- ・中学校の考え方
R3新学習指導要領全面開始…すべて採択
基礎資料…共通の観点, 教科ごとの観点で作成
- ・特別支援学校及び特別支援学級の考え方
- ・協議 5回予定…2回目と3回目で中学校採択
2回目と3回目で指導主事説明
4回目は特別支援学校採択
5回目は答申案審議

◇ 基礎資料について

〔事務局〕採択方針にある「共通の観点」「教科ごとの観点」について、◎○△の3階で評価している。
次回, 担当主事から説明する。

〔委員〕添付書類のどこが◎か, △か分かりにくい。

〔事務局〕時間短縮のため資料を配布している。以前はプレゼンをおこなっていた。
会議終了後は, 添付資料は回収し, 事務局が責任をもって処分する。

〔委員〕例えば, 国語 基礎資料7ページ2イ, ウ, エに関して, 具体的にどういうところを見たらよいのか。

〔事務局〕各教科の観点と所見の中に記載されているものをもとに評価が妥当であるか判断していただきたい。

〔委員〕2ウ「自学, とも学」について詳しく説明していただきたい。

〔事務局〕(第2次福岡市教育振興基本計画を提示しながら説明) 共同的に子どもたちが考えをつくりだすことができるような内容か, 主体的, 対話的深い学びにつながる内容になっているかという観点。

〔委員〕教科書のレベルで考えたときに, どのような内容であればよいのか。

〔事務局〕主体的に子どもたちが, 共同的に考えを作り出したりしているところが現れているか, 対話が生まれるような内容が見てとれるかなど。

〔委員〕所見が教科書と見合わせてやってほしいとのことだが、膨大な量である。色がついているところを中心に妥当性を判断していくのか。

〔事務局〕◎、△がついているところを中心に確かめていただきたい。

〔委員〕◎や△を重点的に確かめるということだが、○と評価されているが◎なのではないかといった点でも確かめてよいのか。

〔事務局〕◎、△を中心にと述べたが、その他の評価についても確かめていただきたい。

〔委員〕国語 各教科共通の観点2エで◎がついているが、どういった点で評価したのか。観点が捉えにくい。

〔事務局〕個に応じた指導への配慮、持続可能な社会の創り手としてという2つの要素から判断している。第2回の調査研究委員会で具体的に教科書を示しながら説明する。

〔委員〕前回採択された教科用図書については、どのようなものがあるのか。

〔事務局〕次回、現在採択している教科書についてはお示しする。

〔委員〕これまでの採択で、教科書会社にどれくらい変移があったのか。

〔事務局〕教科によって継続性には差があるが、今までの継続性について意図はせず、その時々福岡市の子どもたちに合ったものを採択している。

〔委員〕各教科共通の観点2エが難しい。持続可能な社会をどう考えるのか、改めて整理して提案していただきたい。

〔委員〕各教科共通の観点2エの観点について、第2次福岡市教育振興基本計画のどこに記載されているのか。

〔事務局〕明確にSDG sの観点を項立はしていないが、大きな柱と捉えている。

〔委員〕SDG sが様々な教育活動に反映されているようである。福岡市の学校の実態として先行して実践していることはあるのか。

〔事務局〕教育活動をSDG sの枠組みに置き換えて実施している学校があることは捉えている。市全体として、全面に押し出してという教育活動は今のところ行っていない。

〔委員〕子どもたちの学習意欲や探求心を掻き立てるような教科用図書を採択してくという方針か。

〔事務局〕「学びたい」「分かりやすい」と感じたり、知識だけを得るの

ではなく、「友達と協議して学びたい」と考えたりするような教科用図書を採択していけたらと考えている。

〔委員〕自身の子どもが「学び合い」を推進している学校である。教科用図書採択にあたって、社会に出ていく子どもたちの姿を意識して評価していきたい。

〔委員〕子どもたちが主体的に学ぶという観点をもって評価していきたい。

〔委員〕教科用図書の採択にあたって、過程があることを初めて知った。これからの子どもたちにとってよりよい教科用図書を考えていきたい。

〔委員〕自分らしい観点でも教科用図書を考えていきたい。

〔委員〕成長していく過程で、子どもたちが手にとりたくなるような教科用図書を選んでいきたい。

〔委員〕今年度は、高等学校につながる中学校の教科用図書の採択であるので、大変興味深く捉えている。また、SDGsの観点について興味深い。

〔委員〕教科用図書を実際に手にとり、基礎資料をもとに評価し意見していきたい。

議 事 録

会 議 名	令和2年度第2回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	令和2年6月23日（火）9:30～12:00
開催場所	福岡市教育センター 201 研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 森委員，古相委員，中山委員，松本委員</p> <p><PTA役員> 古賀委員，力丸委員，坂元委員 川添委員，松原委員</p> <p><校長会> 細川委員，鈴木委員，中島委員，箆島委員</p> <p><指導主事等> 三浦委員，藤本委員，永田委員，岡藤委員 井手口委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員> 福田委員</p> <p>事務局：木下指導部長，齊藤学校指導課長，諏訪原発達教育センター所長 瀬村学校指導第2係長，</p>
議 題	○ 基礎資料説明及び審議
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 議事</p> <p>（1）基礎資料説明及び審議</p> <p style="padding-left: 2em;">○ 国語</p> <p style="padding-left: 2em;">○ 書写</p> <p style="padding-left: 2em;">○ 理科</p> <p style="padding-left: 2em;"><休憩></p> <p style="padding-left: 2em;">○ 美術</p> <p style="padding-left: 2em;">○ 技術</p> <p style="padding-left: 2em;">○ 家庭</p> <p style="padding-left: 2em;">○ 保健体育</p> <p>3 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p>（1）基礎資料説明および審議</p> <p>○ 国語</p> <p>【事務局より，国語の基礎資料を説明】</p> <p>[委 員] 実際に学校で授業をする立場に立つと，教材研究などの面から現在使用している出版社がよいとなる。しかし，教師が教材研究をするためには，現在使用している出版社とは違う教科書にした方がよいと考えられる。</p> <p>[委 員] 現在採択しているものを採択した方がよいという方針はあるのか。</p>

[事務局] この採択にあたっては、これまでの教科書の使用という観点はない。したがって、改めてすべての教科書を見ていただく。◎○△については、教科書同士を比較してつけたものではないということを確認しておきたい。

[委員] 「主体的・対話的で深い学び」について具体的に説明してもらいたい。

[事務局] 調査会では、「主体的・対話的で深い学び」を重視した。「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を生徒自身が自覚できることが大切であると考えている。学習の系統性が分かりやすいものが生徒一人一人が、学びを主体的に進めていく上でよいと判断した。

[委員] 学びのスタートは興味・関心であるため、学びやすさだけで評価できないのではないかと。

[委員] 系統性が示されていることが、主体的な学びを実現することにはならないのではないかと。そこに教師の指導性が必要になる。主体性や意欲という場合には、生徒に任せるのではなく、その何倍も教師の指導性が重要である。

[委員] 教科書の工夫と教科書を教師がいかにかに使うかという工夫は密接に関連している。

[委員] グループディスカッションは学んだあとにしか実施できない。1回目に設定されていることを評価するのはどうか。もし1回目に位置付けるのであれば、グループディスカッションが成立するよう適切な指導を行う必要がある。

[委員] 光村はワークが多く、イメージが広がらない印象をもった。三省堂は、挿絵もよく、国語のよさを感じた。どちらが子どもの印象に残るのか考える必要がある。

[委員] 「思考の仕方」「話し合いの仕方」など、親切的構成になっており、生徒の活動等が広がっていかないことも考えられる。学習指導要領が学び方に踏み込んだ記載となっているため、教科書もそのようなことに準じているのだろう。

[委員] 共通観点 2イについて、各出版社がどのように扱っているのか、整理して説明してほしい。

[事務局] 各出版社において、辞典の使い方やグラフや図表の読み方、さまざまな分取を取り上げるなど、読解や情報活用の育成を意図している。

○ 書写

【事務局より、書写の基礎資料を説明】

- [委員] 実物大の手本がないことが課題とあるが、そのことが致命的なのか。
- [事務局] 実際の文字の大きさと対応しておらず、バランスをとることができないと考え、課題と評価した。1学年の早い時期に、手本の使用の仕方や文字のバランスについて学習するため、実際の大きさがあつたほうがよいと考えた。
- [委員] 見開きの手本があるほうがよいのか。各社差はないのではないのか。
- [委員] 大きさについては、気にしなくてよいのでは。習字道具を机の上に置き、さらに見開きで置くことが可能なのか。
- [委員] 見開きの手本がある方が大きさについて気を付けて書くことができる。小さいものを大きく書くのは難しい。
- [委員] なぜ書写を学ぶのか、書写を学ぶことのよさは何かについて考えずに書写の学習を進めることになっていないか。光村図書の「毛筆を生かそう」というところに◎があることは重要な意味があると考ええる。

○ 理科

【事務局より、理科の基礎資料を説明】

- [委員] 調査会でどういう点を重視して話し合いがなされたのか。
- [事務局] どの教科書も写真や資料が豊富に掲載されている。生徒にとって、読み進めやすいものはどれかという点を重視した。福岡市が掲載されていることも生徒にとって親しみやすいと考えた。QRコード等を開き、どのようなコンテンツがあるのかについても調査した。
- [委員] 「理科観点13」使用薬品の廃棄について、学校図書が課題であるとしているが、どのような点が課題なのか。
- [事務局] 実験の準備について教科書をもとに準備するが、薬品等の取扱いについては、QRコードを使わないと具体的な内容が示されていない点は課題であると考えられる。
- [委員] 大日本図書 共通2ウ 生徒の吹き出しに書かれているものについては、実際の授業で生徒が発言すべきものではないか。興味関心を高めているものと言えるのか。
- [事務局] 生徒がいろいろな考え方に触れる点では、吹き出しはあつた方がよい。
- [委員] 東京書籍 共通2エで取り上げているページについて、「SDGsで世界を変える」は、付録的な取扱いか。
- [事務局] 資料的な取扱いである。

[委員] 大日本図書 共通2エ のSDGsについても、資料的な取り扱いか。

[事務局] 資料的な取り扱いである。

[委員] 持続可能な社会という言葉とSDGsという言葉を使い分けているのではないか。本文中では、「持続可能な社会」を使っている。所見についても、持続可能な社会とSDGsをきちんと使い分けて表記すべきではないだろうか。

[委員] 各出版社における導入の取扱いについてはどのようなか。

[事務局] どの教科書も非常に多くの写真や資料が掲載されており、生徒の興味や関心を引くものが多くあるので活用しやすい。また、「学習前の私」の姿を載せているものもあり、そこから始めることもできると考えられる。

[委員] フルカラーとなっているが、重要な語句については、目立たないようにしている。各出版社における配色についての議論はなされたか。

[事務局] 写真の大きさや文字の大きさについて調査会でも意見が出された。写真が多くなった分、ここは大切だというもの小さくなっているものもあったのでそこは課題と評価している。

○ 美術

【事務局より、美術の基礎資料を説明】

[委員] 共通観点 4イ 発展的な学習内容については、そもそも分けられないのではないか。どのような基準で分けているのか。生徒の発想によっては、いろいろな方向に発想が広がっていくこともあるのではないか。

[事務局] 教科の特質上、いろいろな作風につながっていくこともある。

[委員] 共通観点 4イについては、美術科教育とすると、課題が残るとは言えない。共通の観点にこだわって評価すると課題が残るとなるのは教科の特質を損なうことになるのではないか。

[委員] 共通観点 4イの評価については、△を○に改める。併せて、所見の書きぶりについても変更するとよい。

○ 技術

【事務局より、技術の基礎資料を説明】

[委員] 共通2イ ブレインストーミングやKJ法については、すべての教科で扱うものだと思うが、技術とのつながりはどのようなになっているのか。

[事務局] ブレインストーミングやKJ法については、すべての教科で取

り扱うものであるが、技術の学習方法として示してあることは適切であると考えてる。

[委員]ブレインストーミングや KJ 法については、他の出版社ではどのように取り扱っているのか。

[事務局]他社にもあるが、東京書籍はより詳しく記載されている。

[委員]ブレインストーミングや KJ 法の具体的な活用場面はどのようか。

[事務局]プログラミングなどチームで活動する際にふせん紙を使って互いの考えを出し合ったり、分業して活動したりする際などに効果的であると考えてる。

○ 家庭

【事務局より、家庭の基礎資料を説明】

[委員]開隆堂 教科観点4 のアレルギー物質を示しているのはよい。

[委員]教育図書 共通観点5 食品群の色づかいについては、見にくいことはないのではないか。

[委員]教育図書 教科観点3 野菜がどのように栽培され、どのような手順を経て料理ができているのかが分かるのはよい。

○ 保健体育

【事務局より、保健体育の基礎資料を説明】

[委員]共通2オ 安全面・衛生面が重要なのではないかと。具体的に説明してほしい。

[事務局]各出版社とも、配慮されている。特に特筆すべきものはない。

[委員]所見の文言を充実させた方がよい。

[委員]教科4 ストレスの対処や応急手当の技能に関する内容については、各出版社の取扱いはどのようか。

[事務局]学研教育みらいについては、実習コーナーが設定され、実践しやすいものとなっている。

[委員]感染症の取扱いについては、各出版社はどのようか。

[事務局]東京書籍には、感染症の例や感染経路について記載されている。

[委員]東京書籍 共通2エ 他の出版社にも学習課題やキーワードは掲載されているのではないかと。

[事務局]学習課題やキーワードについては、他の出版社にも記載されている。東京書籍は、「活用する」「広げる」が特徴であるのであったため、十分満足できると評価している。

[委員]内容と授業時数のバランスなどからすると、情報量が多いこと

	<p>は、マイナスではなくてプラスに捉えてもよいのではないか。 [委員] 共通2オの所見表記を修正する。</p>
--	--

議 事 録

会 議 名	令和2年度第3回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	令和2年6月26日（金）9:30～12:00
開催場所	福岡市教育センター 204研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 森委員，古相委員，徳永委員</p> <p><PTA役員> 佐伯委員，力丸委員，坂元委員 川添委員，松原委員</p> <p><校長会> 細川委員，鈴木委員，中島委員，箆島委員</p> <p><指導主事等> 三浦委員，藤本委員，永田委員，岡藤委員 井手口委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員> 福田委員</p> <p>事務局：木下指導部長，齊藤学校指導課長，諏訪原発達教育センター所長 瀬村学校指導第2係長，</p>
議 題	○ 基礎資料説明及び審議
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 議事</p> <p>（1）基礎資料説明及び審議</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 英語</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 音楽一般・器楽合奏</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 道徳</p> <p style="padding-left: 20px;"><休憩></p> <p style="padding-left: 20px;">○ 数学</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 社会地理的分野</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 社会歴史的分野</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 社会公民的分野</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 社会地図</p> <p>3 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p>（1）基礎資料説明および審議</p> <p>○ 英語</p> <p>【事務局より，英語の基礎資料を説明】</p> <p>[委員] 中学校で，英語を使つての授業はどの程度実施しているのか。</p> <p>[事務局] 新学習指導要領では，中学校では基本，英語で進めることとなっている。</p> <p>[委員] 授業すべてか。</p>

[事務局] 基本的にすべてである。

[委員] 現状の授業はどうか。

[事務局] 「何ページを開けなさい」など、基本的な指示は日本語で行っている。

[委員] 高校は英語で英語を教えているので驚いた。関係しているのは開隆堂5ページのみであった。

[委員] 英語については共通観点5をしっかりと見ている。どの会社についても見ているので安心している。光村は書き込みやすさなどしっかりと見ている。

[委員] 「協働学習」が初めて出ている。ここで言っている意図はあるのか。

[事務局] プロジェクト学習はどの教科書にもある。自分の意見を持ち寄って作り上げることを評価した。「協働」が誤解を招くならば「とも学」に直す。

[委員] 福岡市として、「とも学」に統一したほうが良いのでは。

[委員] p22で、赤色マスキングシート素晴らしいとあるが、脳科学的にいいらしい。一般的には、アウトプットする時に初めて覚えるらしい。これは教育出版だけか。

[事務局] このような形でマスキングシートが添付されているのは教育出版だけです。

[委員] 光村図書p10ファイブラウンドシステムについて詳しく教えてほしい。

[事務局] 英語の教科書を1年間の中で何度も使う学習方法のこと。特化した教科書ではなく、取り組みやすい教科書である。

○ 音楽一般・器楽合奏

【事務局より、音楽一般・器楽の基礎資料を説明】

[委員] 教育出版 共通観点2ウ 福岡スタンダードとの関連 体を動かしながら体験的な活動はいいことだが、これとの関連は。

[事務局] 調査会では、指揮などの活動を、体を動かして行う活動と捉えた。その活動を通すことで、主体的・対話的で深い学びにつながる。

[委員] 活動しながら体験することについて詳しい説明があるといい。

[委員] 音楽としては1つだが、一般と器楽という教科書は2種類になっている。実際の授業ではどのように使っているのか。

[委員] 一つの題材を抑えるうえで、使い分けている。

[委員] 生徒はいつも2つ持っているのか。

[事務局] だいたい、両方準備している。

○ 道徳

【事務局より、道徳の基礎資料を説明】

[委員] QRコードから見られるコンテンツとはどのようなものか。

[事務局] 動画写真など。

[委員] どのような使い方をするのか。

[事務局] 一人1台タブレット整備されるので、導入等で活用する。

[委員] コンテンツの数ではなく質はどうか。

[事務局] そのまま使えるが、補助資料が必要なものもある。

[委員] たくさんあるということは、先生方の工夫も広がる。

[委員] そもそも多面的・多角的とはどういうことか。

[委員] 学習指導要領では区別していません。

[委員] 多面的であれば、物事には様々な面、多角的であれば、様々な立場がある。

[委員] 調べたら、多面的とは、問題には様々な側面がある。その中の一つに着目したときに、いろんな見方があるということ。

[委員] 道徳は、誰が教えるのか。

[事務局] 道徳の専門教師はいない。

[委員] 全員が教えるのなら、教授法についてはどうあるべきか。

[事務局] 教科は教科でも、「特別の教科」と言っている。中学校では教科ごとの免許状交付になっているが、道徳はない。中学校の専門の教科免許を持っていれば教えられる。そういう意味で「特別の教科」。また、他の教科は評価するが、道徳に関してはしない。特別のやり方ではするが。教授法に関してはいろいろある。基本は問題解決型。従来は「こうしたほうがいいですよ。」だったが、これからは、例えば教師と生徒が一緒になって、ちょっとでもいいアイデアを見つけていくのが基本。

○ 数学

【事務局より、数学の基礎資料を説明】

[委員] 共通観点自学とも学について、数学では答えが一つで、それを導き出すプロセスが大事。とも学によって、ほかに人の考え方が影響するだろう。そういう意味では共通観点2ウ◎を説明してほしい。

[事務局] 東京書籍では、扉の課題設定がとても良い。学習をしながら戻ることができる。啓林館では、対話活動を仕組めば学びが深まるようになっている。数学が得意ではない子にとって分かりやすい。家で補充の問題に取り組もうとした際に役立つページがある。

[委員] 東京書籍は構造が分かりにくいという印象があったが、説明を聞いてよくわかった。情報がありすぎると分かりづらいということになる。QRコードについても、多ければいいということではないと思うがどうか。

[事務局] QRコードについては、量と質を見ている。教科書のどの部分にあるのがいいのか調査会で検討した。学習の途中であるほうが活用しやすいという判断をした。p16は、情報を与えずと判断した。

[委員] 吹き出しは、誘導尋問になっているという指摘だろう。考える力を奪うということ。明らかに誘導尋問して思考力を奪うものはどうかと思う。

[委員] 共通観点5は全部同じ文言でくくられている。啓林館は画期的だと思う。小学校で言う計算ドリルが中学校の背表紙の方についている感じ。囲い方（四角や丸、点線など）に意図があるのか。STEP1, 2というのが、木の枝のように斜めになっているのが気になる。共通5ユニバーサルデザインを、もう少し教科書会社によって違いがあると思うので見てほしい。

[委員] コメントがほとんど同じ。それぞれの教科書の特徴を捉えて書いてほしい。

[事務局] 啓林館の製本の仕方。授業の中でこっちいたりあっちいたりあまりよくないと思っている。

[委員] 数学的な見方・考え方を働かせて問題解決ができる工夫はp12以外にあるか。

[事務局] 数学的な見方・考え方についてはいろいろな場所にちりばめられている。「～と同じように考えたらどうか。」といった表記になっている。

[委員] 数学的なものの見方・考え方をいかに働かせるかが大事。福岡市の生徒たちに、数学的な見方・考え方をしっかり身につけてもらいたい。小学校との円滑な接続とはどういうことか。

[事務局] 小学校の振り返りページが位置付けられている。小学校では負の数がない。正の数、分数、小数をふりかえることが大事。教科書で教えていくことは何か、問題解決的な学習を進めながら数学的な見方・考え方を育てていくために、小中の円滑な接続は大事。

○ 社会地理的分野

【事務局より、社会地理的分野の基礎資料を説明】

[委員] 複合的に学ぶ仕組みの教科書になっている印象がある。

[委員] 昔は暗記ものというイメージだったが、今は考えさせる内容になっていていい。

[委員] 地理には自然地理と人文地理という2種類あって、つきつめていくと面白い。

○ 社会歴史的分野

【事務局より、社会歴史的分野の基礎資料を説明】

[委員] 文字ばかりの教科書は抵抗がある。写真や挿絵があってよい。

[委員] 歴史こそ学ぶことがたくさんあるので、QRコードがあるといい。福岡のことが書いてあるのもいい。歴史の中に著作権法の記載があるのに驚いた。

[委員] 「愚者は経験に学ぶ」「賢者は歴史から学ぶ」という言葉がある。歴史の学習をぜひ大事にしてほしい。

○ 社会公民的分野

【事務局より、社会公民的分野の基礎資料を説明】

[委員] 中学校で、義務教育最後に身に付けてほしい資質能力だという意味での公民的分野なのか。

[委員] 公民的資質というが、これから社会の中で生きていく子供たちが、政治や文化の中で生きていけるための力を身に付けさせるために公民的分野が設定されている。

[委員] SDGs 一つ一つのテーマで単元を深めていくことができるとよい。そのようなところまで評価できるとよい。

[事務局] 国連は17の側面を考えている。その一つ一つについて様々な取り組みがあるということ。

○ 社会地図

【事務局より、社会地図の基礎資料を説明】

[委員] 観点3について、資料がどの程度あるのかというところで、資料がどう活用されるか決まる。観点4について、国旗については両社とも△になっているが、あえてしなくてもよいのではないか。

[委員] 小学校と中学校の違いは。

[事務局] 資料の豊富さが違う。種類などが増えてくる。

議 事 録

会 議 名	令和2年度第4回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	令和2年6月30日（火）9:30～12:00
開催場所	福岡市教育センター 204研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 森委員，古相委員，徳永委員，松本委員，中山委員</p> <p><PTA役員> 古賀委員，力丸委員，坂元委員 川添委員，松原委員</p> <p><校長会> 細川委員，鈴木委員，中島委員，箆島委員</p> <p><指導主事等> 三浦委員，藤本委員，永田委員，岡藤委員 井手口委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員> 福田委員</p> <p>事務局：木下指導部長，齊藤学校指導課長，諏訪原発達教育センター所長 瀬村学校指導第2係長，</p>
議 題	○ 特別支援学級・特別支援学校で使用する一般図書についての審議
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 議事 （1）基礎資料説明及び審議</p> <p>3 閉会のことば</p>
主な意見・ 協議結果等 主な協議	非公開

議 事 録

会 議 名	令和2年度第5回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	令和2年7月6日（月）9:30～12:00
開催場所	福岡市教育センター 204研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 森委員，古相委員，徳永委員</p> <p><PTA役員> 古賀委員，力丸委員，坂元委員 川添委員，松原委員</p> <p><校長会> 細川委員，鈴木委員，中島委員，箆島委員</p> <p><指導主事等> 三浦委員，藤本委員，永田委員，岡藤委員 井手口委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員> 福田委員</p> <p>事務局：木下指導部長，齊藤学校指導課長，諏訪原発達教育センター所長 瀬村学校指導第2係長，</p>
議 題	○ 調査研究報告書（答申）案についての審議
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 議事</p> <p>（1）中学校全教科 調査研究報告書（答申）案</p> <p>（2）一般図書 調査研究報告書（答申）案（非公開）</p> <p>3 お礼のことば</p> <p>4 閉会のことば</p>
主な意見・ 協議結果等 主な協議	<p>議事</p> <p>1 審議の経過について</p> <p>委員長よりこれまで計4回の調査研究委員会における審議の経過について説明。</p> <p>事務局より報告書の確認の仕方について説明。</p> <p>2 審議</p> <p>① 中学校全教科 調査研究報告書（答申）案</p> <p>事務局より，国語，書写，社会地理的分野，社会歴史的分野，社会公民的分野，社会地図，数学，理科，音楽一般，音楽器楽合奏，美術，保健体育，技術，家庭，英語，道徳の順に報告書について説明。</p> <p>（国語）</p> <p>評価及び審議内容について，報告書の記載通りと確認</p>

	<p>(社会地理的分野) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p> <p>(社会歴史的分野) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p> <p>(社会公民的分野) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p> <p>(社会地図) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p> <p>(数学) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p> <p>(理科) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p> <p>(音楽一般) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p> <p>(音楽器楽合奏) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p> <p>(美術) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p> <p>(保健体育) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p> <p>(技術) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p> <p>(家庭) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p> <p>(英語) 評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認</p>
--	---

(道徳)

評価及び審議内容について、報告書の記載通りと確認

[委員] 数学で、ユニバーサルデザインについての所見が適切に修正されている。

[委員] 次年度に向けて、所見については、もう少し詳しく書いた方がよい。

[委員] P. 170英語の観点3，所見，「とも学」の実現，脱字

[委員] ページのフォントを大きくしてほしい

② 一般図書 調査研究報告書（答申）案 （非公開）